

KIRIN BEERS NEW 1988-1989

DRAFT

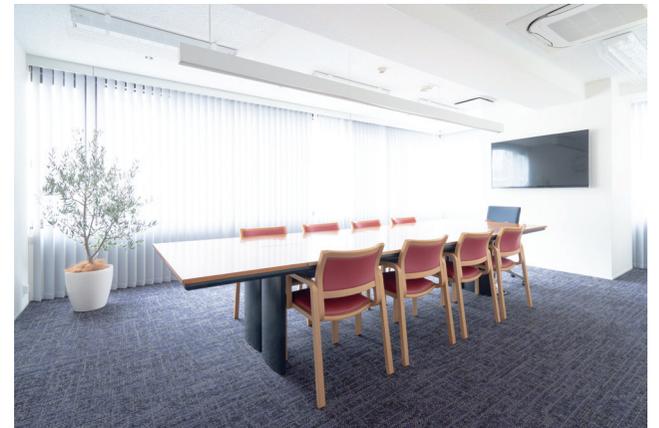
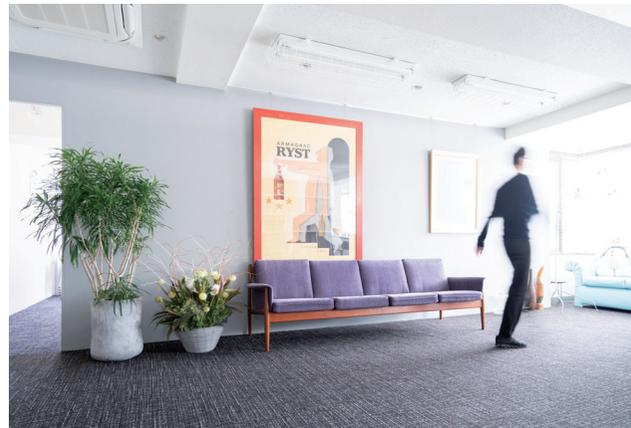
Copyright © 1972 DRAFT Corporation. All Rights Reserved.

DRAFT

会社名	株式会社ドラフト	業務内容	ブランドの開発及び育成 CI、VIの企画、制作 広告宣伝、販売促進の企画、制作 自社プロダクトブランド D-BROSの企画、制作、および販売 ウェブデザインの開発および制作
設立	1978年8月1日	著書	仕事の流儀（2016年12月） 出版社：日経BP デザインするな（2009年3月） 出版社：DNPアートコミュニケーションズ 世界のグラフィックデザインシリーズ 60 「ドラフト」（2003年5月） 出版社：ギンザグラフィックギャラリー
資本金	20,000,000円		
代表	宮田 識		
所在地	〒162-0814 東京都新宿区新小川町 3-10 SEビル3F		
ドラフト 連絡先	TEL：03-6280-8928（代表） FAX：03-6280-8915		
D-BROS 連絡先	TEL：03-6280-8929 FAX：03-6280-8903		
E-mail	contact@draft.jp		
H P	https://draft.jp http://d-bros.jp		

DRAFT

新社屋内観



Copyright © 1972 DRAFT Corporation. All Rights Reserved.

BEER'S NEW

そもそもこのきっかけは、キリンビール横浜工場のラゲルセンター。ここには世界中のビールに関する様々なデータやノウハウが集められています。このビールの未来博のような工場に、ある日、バイオリアクター（生物反応装置なる不思議な物体が出現しました。中には、キリン独自の技術から生まれた粒状のセラミックスがぎゅりり。さらにそのひと粒ひと粒の中には「酵母」が無数に住みこまっています。ここに麦汁を流し込むと、ふうふう60日間はかかる「発酵」がなると、目で終わってしまいます。これはすごいぞ、と大騒ぎになったわけです。キリンは、従来の発酵法とバイオリアクターを組み合わせた多段階発酵方式を世界で初めて開発し、香味バランスを自由自在に調節できる画期的システムに成功。今までは不可能だったような新しいような可能性も一気に高まったのです。●ビールが驚くほど小さなスペースで作れる。すぐ作れる。しかももとおおいしく作れるようになる。コヒーメーカみたいに、自分好きなときにビールが作れる時代だって来るかもしれない。そんな夢もすぐらみそうなニュースでした。●10年後、20年後、ビールは大きく変わっていくだろう。未来のビールのノウハウを着々と蓄える。最近のキリンです。と、ここまでおおいしくなれるだろう。

KIRIN

キリンビール・ハイビー。



BEER'S NEW

「飲む人になりきって発想しようよ」と決めてみました。10万人を超す大規模なお客様調査がそのスタートでした。ビールを飲んだ瞬間のあのシワ寄せ、な気分をくくるのは、どんな日付なりで、どんなときとして、どんな感覚なんだろう。●メーカー発想からは出てこなかったようなまじりのシフトが、いろいろ見えてきました。圧倒的に多かった。ビヤホールの生ビールはなぜあんなにどろろ飲めるのか、というが最も多かった。たしかにビヤホールなら、またの生を新鮮なうちに飲む。ビヤホールの生はほろほろはかない。飲む人は、この差を全く違うものとしてチカラしていました。ビヤホールの生うまさを勝負できるビール、なんとか実現できないだろうか……。●KIRINには数百種に及ぶ酵母菌がいます。その中からと、こんな酵母がありました。この酵母、ビヤホールと違って、約々、88年2月、特許公開、89年2月、世界初、FD酵母の投入生ビール、新発売、商標名、キリンライドライト。●飲む人発想に徹しなければ、なかなか思いつかなくて、作れなかつた。そんな新しいビールが、キリンから次々登場します。なにかが作るほもシワ寄せなふりとなりつある。今日の頃です。(キリンビール株式会社) ●どこまでおおいしくなれるだろう。

KIRIN

幸福研究所。



キリンビール株式会社

ど「いままでおいらしくなれるだろっつ。」



BEER'S NEW

ビールを飲むパターンが変わってきました。まず、いままで飲まなかった人が飲むようになった。いままで飲まなかった時間や場所でも飲むようになった。ビールの種類もグッと増えてきたし、ビールの楽しみ方だってずいぶん個性的になってきた。それにつれて、当然、ビールの好みもうるさくなってくるわけです。飲みやすいビールがいい。飲みごたえでいえばコレ。コクがどうだ。苦みがどうだ。のどごし云々。さらには香りの好き嫌いまで。保守派、革新派入り乱れてのビール論争も、なかなか盛り上がりましたね。●さて、KIRINは来年、ブランド誕生101年目。この新しいスタートを迎えるにあたって、ビール全製品をくくる新しい発想を皆さんにプレゼンテーションします。——「ビアーズ・ニュー」どこまでおいしくなるだろう。がそのテーマ。ビールを飲んだ人が思わず「あーうまい」とうなってしまふあの時の気持ちを、もう一度徹底追求しよう。なぜ、うまいのか。どんな味や、どんな刺激が効いたのか。根ホリ葉ホリ分析しようということになったのです。ちよつと骨の折れる作業でしたが、キリンビールの全製品について飲む人の実感にもとづいた味覚分類と立体的な整理もやってみました。「もつと、こんなビール、できないか」というリクエストにも積極的に挑戦しました。その結果、ビールの新しいうまさ、次の可能性が少しずつ見えってきました。●あたりまえのことですが、KIRINは、ずっと、「品質本位」。このガンコなまでの精神で、来年は、飲む人の「あーうまい」の気持ちにひとつひとつこたえていきます。くわしくは、新製品を中心とした具体的ニュースでお伝えする予定です。お楽しみに。キリンビール株式会社

KIRIN